

BIOS 設定

このマザーボードは、システムのROM設定情報を含むAward BIOSチップを使用しています。このBIOSチップは、CPUとその他ボード上の構成部品とのインターフェースの役割を担っています。この章では設定プログラムに含まれる情報と、お使いのPCシステムの構成に合わせた設定方法を説明します。

CMOS 設定ユーティリティ CMOS Setup Utility

ROM PC/ISA BIOS (2A89KF0D) CMOS SETUP UTILITY AWARD SOFTWARE, INC.	
STANDARD CMOS SETUP BIOS FEATURES SETUP CHIPSET FEATURES SETUP POWER MANAGEMENT SETUP PNP/PCI CONFIGURATION LOAD BIOS DEFAULTS LOAD SETUP DEFAULTS	INTEGRATED PERIPHERALS SUPERVISOR PASSWORD USER PASSWORD IDE HDD AUTO DETECTION SAVE & EXIT SETUP EXIT WITHOUT SAVING
Esc : Quit F5 : Menu in BIOS F10 : Save & Exit Setup	↑ ↓ → ← : Select Item (Shift)F2 : Change Color

システムBIOSに書き込まれている設定プログラムはCMOS RAMに保存されています。この設定プログラムでマザーボードの構成に関する設定を調整できます。このプログラムはユーザがシステム構成やバックアップバッテリーを変更したり、システムが構成上のエラーを検出し、ユーザに設定プログラムを起動することを要求したときに実行されます。「矢印」キーで選択して、「Enter」キーでプログラムを起動してください。BIOS最上レベルのメニューの設定を見るには、F5: Menu in BIOSを選択してください。

基本設定 Standard CMOS Setup

ROM PC/ISA BIOS (2A89KF0D) STANDARD CMOS SETUP AWARD SOFTWARE, INC.									
Date (mm:dd:yy): Mon, Jul 13 1998									
Time (hh:mm:ss): 15:37:55									
HARD DISKS	TYPE	SIZE	CYLS	HEAD	PRECOMP	LANDZ	SECTOR	MODE	
Primary Master	: Auto	0	0	0	0	0	0	Auto	
Primary Slave	: Auto	0	0	0	0	0	0	Auto	
Secondary Master	: Auto	0	0	0	0	0	0	Auto	
Secondary Slave	: Auto	0	0	0	0	0	0	Auto	
Drive A : None									
Drive B : None									
Floppy 3 Mode Support : Disabled									
Video : EGA/VGA									
Halt On : All Errors									
					Base Memory: 640K Extended Memory: 31744K Other Memory: 384K <hr/> Total Memory: 32768K				
Esc : Quit					↑ ↓ → ← : Select Item		PU/PD/+- : Modify		
F1 : Save & Exit Setup					(Shift)F2 : Change Color				

Standard CMOS設定画面が上図のように表示されます。それぞれの項目で1つ以上の設定ができます。システムメモリについてはBIOSが自動的にサイズを認識するので特に設定する必要はありません。「矢印」キーで項目をハイライト表示し、「PgUp」または「PgDn」キーで設定値を選択してください。

ハードディスク設定 Hard Disk Configurations

TYPE: 手動で値を設定する場合は「User」を選択し、HDD自動認識機能を利用するには、「Auto」を選択します (推奨)。

SIZE: ハードディスクの容量を表示します。単位はメガバイトです。

CYLS: ハードディスクのシリンダー数を表示します。

HEAD: ハードディスクドライブの読み出し及び書き込み (read/write) の設定をします。

PRECOMP: ハードディスクドライブが書き込むタイミングを変更するときのシリンダー数を設定します。

LANDZ: ハードディスクドライブヘッド(read/write) が待避するシリンダー数の位置を設定します。

SECTOR: ハードディスクの各トラックに定義されるセクターの数を設定します。

MODE: HDDの転送モードの自動設定には「Auto」を選択してください。使用するハードディスクが、LBAモードをサポートしている場合は、「LBA」または「Large」を選択してください。使用するハードディスクのシリンダーが1024以上で、LBA機能をサポートしていない場合は、必ず「Large」を選択してください。ハードディスクが1024以下のシリンダー数しかサポートしていない場合は「Normal」を選択してください。

Floppy 3 Mode Support

この項目で3.5" (1-2MB) NEC 9801フロッピードライブのインストールが可能です。

設定: Disabled (デフォルト), Drive A

ソフトウェアターボ速度 Software Turbo Speed

Software Turbo Speed機能で、DOSのゲームスピードなどを調整することができます。フロントパネルのTurbo Speed Buttonを押す代わりに、「Alt」、「Ctrl」、「+」の3つのキーを同時に押すと、Turbo Speed機能を有効にし、「Alt」、「Ctrl」、「-」の3つのキーを同時に押すと、この機能は解除されます。

機能設定 BIOS Features Setup

ROM PC/ISA BIOS (2M68KFD)		
BIOS FEATURES SETUP		
AWARD SOFTWARE, INC.		
Anti-Virus Protection	: Enabled	Video BIOS Shadow : Enabled
CPU Internal Cache	: Enabled	
External Cache	: Enabled	
CPU L2 Cache EEC Checking	: Enabled	
Quick Power On Self Test	: Enabled	
Boot From LAN First	: Disabled	
Boot Sequence	: A, C, SCSI	
Swap Floppy Drive	: Disabled	
Boot Up Floppy Seek	: Disabled	
Boot Up NumLock Status	: Off	
Gate A20 Option	: Fast	
Typeomatic Rate Setting	: Disabled	
Typeomatic Rate (Chars/Sec)	: 6	
Typeomatic Delay (Msec)	: 250	
Security Option	: Setup	
PCI/VGA Palette Snoop	: Disabled	Esc: Quit F4---: Select Item
OS Select For DRAM > 64MB	: Non-OS2	F1: Help F2/F4: Modify
HDD S.M.A.R.T. capability	: Disabled	F5: Old Values (Shift)F2: Color
Revert to FDD For WIN 95	: No	F8: Load BIOS Defaults
		F7: Load Setup Defaults

Anti-Virus Protection

有効設定(Enabled)で、第1ハードディスクのマスターブートセクターとDOSブートセクターでウィルスの有無を検索します。

設定: Enabled (デフォルト), Disabled

CPU Internal Cache

有効設定(Enabled)で、システムのパフォーマンスを向上させます。トラブルシューティングやテストのときには無効(Disabled)に設定してください。

設定: Enabled (デフォルト), Disabled

External Cache

有効設定(Enabled)で、オプションのSRAMキャッシュをサポートします。

設定: Enabled (デフォルト), Disabled

BIOS 設定

CPU L2 Cache ECC Checking

有効設定(Enabled)で、CPU L2キャッシュの「Error Check & Correction」機能を使用できます。

設定: Enabled (デフォルト), Disabled

Quick Power On Self Test

有効設定(Enabled)で、BIOSの拡張メモリテストを省略します。

設定: Enabled (デフォルト), Disabled

Boot From LAN First

LANを介してリモートサーバーからシステムをブートできるように設定します。

設定: Enabled, Disabled (デフォルト)

Boot Sequence

選択した順序でディスクドライブのオペレーティングシステムを優先的に起動することができます。

設定: A, C, SCSI (デフォルト); C, A, SCSI; C, CDROM, A; CDROM, C, A; D, A, SCSI; E, A, SCSI; F, A, SCSI; SCSI, A, C; SCSI, C, A; C Only; LS/ZIP, C

Swap Floppy Drive

ブート時にオペレーティングシステムを起動するディスクドライブの順序を入れ替えます。

設定: Enabled, Disabled (デフォルト)

Boot Up Floppy Seek

有効設定(Enabled)で、長めのシークコマンドを利用してBIOSがフロッピーディスクドライブのテストを実行します。

設定: Enabled (デフォルト), Disabled

Boot Up Numlock Status

有効設定(On)で、システムの起動時に自動的にNum Lock機能が実行されます。この機能を有効にすると、ブート後すぐにキーボードの数値キーパッドを使用することができます。

設定: On (デフォルト), Off

KB-6130 マザーボードマニュアル

Gate A20 Option

Gate A20とはシステムが1 MB以上 (拡張メモリ) のメモリ空間にアクセスする方法のことです。「Fast」に設定するとシステムのチップセットがGate A20を制御し、「Normal」に設定するとキーボードコントローラ内のピンが制御します。

「Fast」に設定すると OS/2 および Windows 環境でシステムの性能を向上させることができます。

設定: Fast (デフォルト), Normal

Typematic Rate Setting

タイプマティック (Typematic) とは、キーボードのキーを押し続けたとき、キーを放すまで繰り返し同じ文字が入力される機能のことです。「Enabled」でこのタイプマティックのリピー トスピードの設定を変更できます。

設定: Disabled (デフォルト), Enabled

Typematic Rate (Chars/Sec)

キーを押し続けたときに入力される文字のリピー トスピードを変更します。

設定: 6 (デフォルト), 8, 10, 12, 15, 20, 24, 30

Typematic Delay (Msec)

文字がリピー ト入力されるまでの間隔を設定します。

設定: 250 (デフォルト), 500, 750, 1000 (ミリ秒)

Security Option

システムのセキュリティーレベルの設定をします。

設定: Setup (デフォルト), System

PCI/VGA Pallete Snoop

VGA pallete Snoopを必要とするISAアダプタカードが搭載されているときには、「Enabled」に設定してください。

設定: Disabled (デフォルト), Enabled

OS Select For DRAM > 64MB

システムに64MB以上のRAMが搭載され、オペレーティングシステム(OS)がOS/2の場合は「OS2」を選択してください。

設定: Non-OS2 (デフォルト), OS2

HDD S.M.A.R.T. Capability

“S.M.A.R.T”とは、“Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology” (自己監視・分析・報告技術) のことです。有効設定で、ハードディスクドライブの不具合を原因とするシステムダウン(全てではない)を防止するためのアシストをします。この機能を使用するには、ハードディスクがこの機能に対応していなければなりません。

設定: Enabled, Disabled (デフォルト)

Report No FDD For WIN 95

「Drive A」が「None」に設定されているときにのみ、この機能を使用できます。「Yes」に設定すると Windows 95 または Windows 98 にFDDが搭載されていないことを報告します。

「No」に設定すると“5.24” floppy for Win 95 ”のメッセージを表示します。

設定: Yes, No (デフォルト)

Video BIOS Shadow

有効設定(Enabled)で、拡張ビデオカードのVideo ROMコードをシステムメモリにコピーし、処理速度を向上することができます。

設定: Enabled (デフォルト), Disabled

ハードウェア設定 Chipset Features Setup

ROM PC/ISA BIOS (2A86/KFD) CHIPSET FEATURES SETUP AWARD SOFTWARE, INC.			
SDRAM RAS-to-CAS Delay	: 3	Spread Spectrum Modulated	: Disabled
SDRAM RAS Precharge Time	: 3	CPU HostPCI Clock	: Default
SDRAM CAS latency Time	: 3	CPU Warning Temperature	: Disabled
SDRAM Precharge Control	: Disabled	Current System Temp.	:
DRAM Data Integrity Mode	: Non-ECC	Current CPU Temperature	:
System BIOS Cacheable	: Disabled	Current CPUFAN Speed	:
Video BIOS Cacheable	: Disabled	Current CHAFAN1/2 Speed	:
Video RAM Cacheable	: Disabled	Current PWRFAN Speed	:
6 Bit IO Recovery Time	: 1	IN0 (V)	: IN2 (V)
16 Bit IO Recovery Time	: 1	+5V	: +12V
Memory Hole At 15M-16M	: Disabled	-12V	: -5V
Passive Release	: Enabled	VBAT(V)	: 5VSB(V)
Delayed Transaction	: Disabled	Shutdown Temperature	: 80°C/140°F
AGP Aperture Size (MB)	: 64		
		Esc: Quit ++---: Select Item	
		F1: Help PUPD/+-: Modify	
		F5: Old Values (Shift)F2: Color	
		F6: Load BIOS Defaults	
		F7: Load Setup Defaults	

SDRAM RAS-to-CAS Delay

SDRAM RAS#がアクティブとなってからCAS#がアクティブとなるまでの遅延時間を定義します。

設定: 2 Clocks, 3 Clocks (デフォルト)。CPU周波数とDRAMの種類によって異なります)

SDRAM RAS Precharge Time

DRAM RAS# Precharge Time (単位: クロック) を選択できます。

設定: 4, 3 (デフォルト)

SDRAM CAS latency Time

SDRAM DIMMが設置されている場合は、CAS Latencyを選択できます。

設定: 3 (デフォルト), 2

BIOS 設定

DRAM Data Integrity Mode

ソフトウェアによって、DRAMインタフェースをECC(ECC generation and checking/correction)モードで操作するか、または非ECCモードによって操作するかを選択できます。

設定: Non-ECC (デフォルト), ECC

System BIOS Cacheable

有効設定(Enabled)で、キャッシュコントローラーが動作しているときROM領域F000H-FFFFHはキャッシュ可能になります。ただし、プログラムがこのエリアに書き込みをしようとすると、エラーが返されます。

設定: Disabled (デフォルト), Enabled

Video RAM Cacheable

有効設定(Enabled)で、ビデオメモリ領域C0000h-C7FFFhはキャッシュ可能になります。ただし、プログラムがこのエリアに書き込みをしようとすると、エラーが返されます。

設定: Enabled, Disabled (デフォルト)

8 Bit I/O Recovery Time

1つのI/Oコマンドを実行した後、次のコマンドを実行するまでに必要な回復時間をCPUクロック数で設定します。

設定: 1 (デフォルト), 2, 3, 4, 5, 6, 7, NA, 8 (単位: バスクロック)

16 Bit I/O Recovery Time

16 bit I/Oコマンド実行時に必要な回復時間を設定します。

設定: 1 (デフォルト), 2, 3, NA, 4 (単位: バスクロック)

KB-6130 マザーボードマニュアル

Memory Hole At 15M-16M

有効設定 (Enabled) で、15~16MB までの領域が Memory Hole として割り当てられ、ISA または PCI サイクルのためにパフォーマンスを向上させます。

「Disabled」に設定すると、プロセッサが 15~16MB までの領域にアクセスすると、15MB のMemory Hole はDRAMサイクルとして取扱われます。

設定: Enabled, Disabled (デフォルト)

Passive Release

有効設定 (Enabled) で、Intel PIIX4 チップに必要なPassive Release機能を有効にします。

設定: Enabled (デフォルト), Disabled

Delayed Transaction

有効設定 (Enabled) で、現在のPCI マスターサイクルを中止し、新しいI/Oマスター要求を受け入れます。これはオリジナルのPCI マスターを再度受け入れ、PCIデータフェーズをオリジナルのPCI マスターに返します。この機能によってシステムの性能が向上されます。

設定: Enabled, Disabled (デフォルト)

AGP Aperture Size (MB)

AGPに使用されるメインメモリのフレームサイズを設定します。

設定: 4, 8, 16, 32, 64 (デフォルト), 128, 256MB

Spread Spectrum Modulated

Spread SpectrumをCenter SpreadタイプかDown Spreadタイプに設定します。

設定: Enabled, Disabled (デフォルト)

CPU Host/PCI Clock

CPU/PCIクロック周波数を設定できます。

設定: Default (デフォルト), 63/34MHz, 75/37MHz, 83/41MHz, 66/33MHz, 103/34MHz, 112/33MHz, 133/44MHz, 100/33MHz

BIOS 設定

CPU Warning Temperature

CPUのクロック周波数を遅くする温度を設定します。

設定: Disabled (デフォルト), 50°C/122°F, 53°C/127°F, 56°C/133°F, 60°C/140°F, 63°C/145°F, 66°C/151°F, 70°C/158°F

Current System Temp.

コンピュータに監視システムが搭載されているとき、現在のシステムの温度を表示します。

Current CPU Temperature

CPU内部周波数が333MHz以上のとき、内部感熱ダイオードをサポートします。この機能はCPU内部の温度を表示します。

Current CPUFAN Speed

コンピュータに監視システムが搭載されているとき、現在のCPUファンの回転速度を表示します。

Current CHAFAN1/2 Speed

コンピュータに監視システムが搭載されているとき、現在のシャーシファンCHA_FAN1/2の回転速度を表示します。

Current PWRFAN Speed

コンピュータに監視システムが搭載されているとき、現在の電源ファンPWR_FANの回転速度を表示します。

IN0-IN2 (V)

IN0はVcore、CPU Core Voltageです。IN2は3.3Vです。

コンピュータに監視システムが搭載されているとき、最高7つの電圧入力ラインの電圧を表示します。

+5V₊, +12V₊, -12V₊, -5V₊, VBAT(V); 5VSB(V);
電源の電圧を表示します。

KB-6130 マザーボードマニュアル

Shutdown Temperature

Windows 98がインストールされているとき、システムの温度が設定値よりも高くなったときにシステムをシャットダウンします。

設定: 60°C/140°F (デフォルト), 65°C/149°F, 70°C/158°F, 75°C/167°F

省電力機能設定 Power Management Setup

ROM BIOS (286KFRD) POWER MANAGEMENT SETUP AWARD SOFTWARE, INC.		
Power Management	: User Define	← Reload Global Timer Events →
PM Control by APM	: Yes	IRQ(3-7, 9-15), NMI : Disabled
Video Off Method	: DPMS	Primary IDE 0 : Disabled
Video Off After	: Suspend	Primary IDE 1 : Disabled
MODEM Use IRQ	: 3	Secondary IDE 0 : Disabled
Doze Mode	: Disable	Secondary IDE 1 : Disabled
Standby Mode	: Disable	Floppy Disk : Disabled
Suspend Mode	: Disable	Serial Port : Enabled
HDD Power Down	: Disable	Parallel Port : Disabled
Throttle Duty Cycle	: 62.5%	
PC/VGA Act-Monitor	: Disabled	
Soft-Off by PWR-BTIN	: Delay 4 Sec.	
PWRON After PWR-Fail	: Former-Sts	
CPUFAN Off In Suspend	: Enabled	
Resume by Ring	: Enabled	Esc: Quit F4->>: Select Item
Resume by Alarm	: Disabled	F1: Help PUP/PD/+-: Modify
Wake Up On LAN	: Enabled	F5: Old Values (Shift+F2): Color
IRQ 8 Break Suspend	: Disabled	F6: Load BIOS Defaults
		F7: Load Setup Defaults

Power Management

省電力機能の調整ができます。Disabled」に設定すると、一般的な省電力機能の設定を無効にします。User Defined」設定で、省電力機能のマニュアル設定ができます。MIN Saving」は各設定時間を最小値に、MAX Saving」は最大値に設定します。

設定: Disabled, User Defined (デフォルト), MIN Saving, MAX Saving

PM Control by APM

APM (Advanced Power Management)機能を利用しない場合は、「No」を選択してください。「Yes」の選択で、待機モード(Doze)、スタンバイモード(Standby)、サスペンドモード(Suspend)に移行する前に、APM機能実行まで待機したままの状態になります。APM機能に対応している場合は、すべてのタスクが終了した後にシステムが省電力モードに移行するよう管理します。
設定: No, Yes (デフォルト)

Video Off Method

ディスプレイの省電力モードへの移行方法を設定します。「V/H SYNC+Blank」では、ビデオカードから発信される水平(H-Sync)、垂直(V-Sync)同期信号を落として、ディスプレイ表示をブランクにします。DPMSでは、DPMS (Display Power Management Signaling function)規格のビデオカード自身が制御してディスプレイ表示をブランクにします。「Blank Screen」では、表示信号を落としてディスプレイ表示をブランクにします。
設定: V/H SYNC+Blank, DPMS (デフォルト), Blank Screen

Video Off After

モニタの電源をOFFにするモードを選択できます。
設定: Standby, Doze, N/A, Suspend (デフォルト)

MODEM Use IRQ

モデムの指定するIRQ番号に合わせて、利用できるIRQを変更できます。
設定: NA, 3 (デフォルト), 4, 5, 7, 9, 10, 11

Doze Mode

無効設定(Disabled)で、待機モードに移行しなくなります。待機モードに移行するまでのアイドルタイムの設定が可能です。
設定: Disable (デフォルト), 1, 2, 4, 8, 12, 20, 30, 40 Min, 1 Hr

Standby Mode

無効設定(Disabled)で、スタンバイモードに移行しなくなります。スタンバイモードに移行するまでのアイドルタイムの設定が可能です。
設定: Disable (デフォルト), 1, 2, 4, 8, 12, 20, 30, 40 Min, 1 Hr

Suspend Mode

無効設定(Disabled)で、サスペンドモードに移行しなくなります。サスペンドモードに移行するまでのアイドルタイムの設定が可能です。
設定: Disable (デフォルト), 1, 2, 4, 8, 12, 20, 30, 40 Min, 1 Hr

HDD Power Down

無効設定(Disabled)で、ハードディスクドライブ(HDD)のモーターをオフにします。「1 Min..15Min」の設定は、HDDが省電力モードに移行する前のHDDアイドルタイムを定義します。「When Suspend」では、システムがサスペンドモードに移行したとき、HDDのモーターがオフになります。
「1 Min..15Min」と「When Suspend」の設定は、同時に実行されません。省電力モード中のHDDへアクセスするとHDDは通常モードに回復します。
設定: Disable (デフォルト), 1 Min..15 Min, When Suspend

Throttle Duty Cycle

システムが待機モードに入ったとき、CPUクロックは完全には稼働しなくなります。ここではクロックが起動する時間の割合を選択できます。
設定: 12.5 %, 25 %, 37.5 %, 50 %, 62.5 % (デフォルト), 75%

PCI/VGA Act-Monitor

有効設定(Enabled)で、PCI/VGAモニタが省電力モードに移行できるかどうかをチェックします。
設定: Disabled (デフォルト), Enabled

Soft-Off by PWR-BTTN

ATX電源を利用したときに有効になる設定です。「Delay 4 Sec.」の設定は、電源ボタンを押して4秒後にシステムをシャットダウンすることを意味します。「Instant-Off」の設定では、電源ボタンを押したら直ちにシステムをシャットダウンします。

設定: Delay 4 Sec. (デフォルト), Instant-Off

PWRON After PWR-Fail

停電によりシステムがシャットダウンしたとき、システムは自動的にオンになりません。この機能はシステム電源が回復したときに、システムをオンの状態に戻す電源状態を選択します。

設定: Former-Sts (デフォルト), On, Off

CPUFAN Off In Suspend

有効設定(Enabled)で、システムがサスペンドモードに移行した時点で稼動していたCPUファンを止めます。

設定: Disabled, Enabled (デフォルト)

Resume by Ring

Serial Ring Indicator (RI) 回線上的入力信号によって、システムを電源OFF状態から回復させます。

設定: Disabled, Enabled (デフォルト)

Resume by Alarm

LANに接続されている場合、有効設定(Enabled)でシステムを通常の操作モードに回復させます。

設定: Disabled (デフォルト), Enabled

Date (of Month) Alarm

「Resume by Ring」を有効設定(Enabled)にすると、「RTC Alarm Resume From Soft Off」を有効にしたとき、アラームが始動する日付の設定ができます。

設定: 0 (デフォルト), 1..31

Time (hh:mm:ss) Alarm

「Resume by Ring」を有効設定(Enabled)にすると、「RTC Alarm Resume From Soft Off」を有効にしたとき、アラームが始動する時間の設定ができます。

設定: 7: 0: 0 (デフォルト). hh (hour) - 0, 1, 2,..., 23; mm (minute) - 0, 1, 2,...,59; ss (second) - 0, 1, 2,...,59

Wake Up On LAN

システムがLANに接続されている場合、有効設定(Enabled)で、LAN上の他のクライアント/サーバからの入力信号によって、システムをソフトオフ状態から回復させます。

設定: Disabled, Enabled (デフォルト)

IRQ 8 Break Suspend

IRQ8(リアルタイムクロック)の監視によってシステムをサスペンドモードのままにしておくことができます。

設定: Disabled (デフォルト), Enabled

IRQ[3-7,9-15], NMI

有効設定(Enabled)で、IRQ3, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15で何らかのイベントが検出されたとき、スタンバイモードに移行するためのタイマーを再起動します。

設定: Disabled (デフォルト), Enabled

Primary IDE 0, Primary IDE 1, Secondary IDE 0, Secondary IDE 1, Floppy Disk, Serial Port, Parallel Port

有効設定(Enabled)で、選択したデバイスをサスペンドモードに移行させないようにします。

設定: Disabled (Serial Port以外のデフォルト), Enabled

プラグ&プレイ・PCI設定 PNP/PCI Configuration

ROM PCI/ISA BIOS (2A69KFD)	
PNP/PCI CONFIGURATION	
AWARD SOFTWARE, INC.	
PNP OS Installed : No	Assign IRQ For VGA : Enabled
Resources Controlled By : Auto	Slot 1 Use IRQ No. : Auto
Reset Configuration Data : Disabled	Slot 2 Use IRQ No. : Auto
	Slot 3 Use IRQ No. : Auto
	Audio Use IRQ No. : Auto
Esc: Quit ↑↓→←: Select Item F1: Help P/UP/D/↓: Modify F5: Old Values (Shift)F2: Color F8: Load BIOS Defaults F7: Load Setup Defaults	

PNP OS Installed

Windows 95のようにOSがプラグ&プレイ機能に対応している場合は「Yes」に設定します。

設定: No (デフォルト), Yes

Resources Controlled By

BIOSで全てのシステムリソースを自動設定させるには「Auto」に設定します。競合するリソースが見つかった場合は、「Manual」に設定してください。

設定: Auto (デフォルト), Manual (IRQ-/DMA-に割り当てられるマニュアル設定: Legacy ISA, PCI/ISA PnP)

Reset Configuration Data

有効設定(Enabled)で、現在のBIOS設定をクリアしデフォルト設定に戻します。

設定: Enabled, Disabled (デフォルト)

Assign IRQ For VGA

使用しているPCIのVGAカードがIRQを必要としない場合は「Disabled」を選択します。IRQが1つ開放され、他のリソースに割り当てられます。

設定: Enabled, Disabled (デフォルト)

Slot 1/2/3 Use IRQ No.

PCIスロットにPCI IRQ番号を割り当てることができます。「AUTO」(デフォルト)を選択すると、PCIコントローラが自動的にIRQ番号を割り当てます。

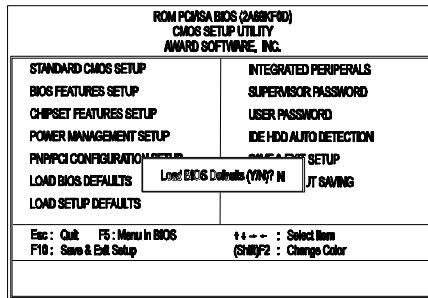
設定: Auto (デフォルト), 3, 4, 5, 7, 9, 10, 11, 12, 14, 15

Audio Use IRQ No.

オンボードのPCIオーディオデバイスにPCI IRQ番号を割り当てることができます。「AUTO」(デフォルト)を選択すると、PCIコントローラが自動的にIRQ番号を割り当てます。

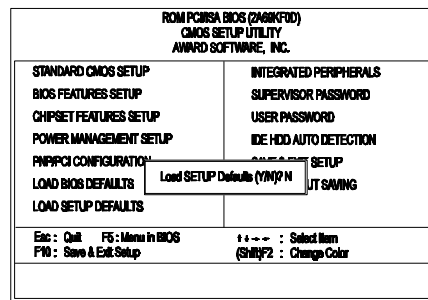
設定: Auto (デフォルト), 3, 4, 5, 7, 9, 10, 11, 12, 14, 15

BIOSの標準設定実行 Load BIOS Defaults



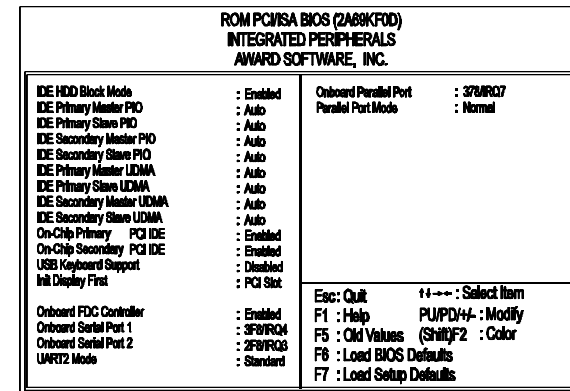
BIOSのデフォルト(標準)設定は、必要最低限のシステムパフォーマンスを確立するために最適な各パラメーターの設定がされています。製造元はバイナリイメージをROMに書き込む前に、MODBINを通してデフォルト設定を変更している可能性があります。

Setupの標準設定実行 Load Setup Defaults



この項目を選択すると、システムが自動的にBIOSとチップセット機能を工場出荷時のデフォルト値の設定に戻します。

デバイスの接続 Integrated Peripherals



IDE HDD Block Mode

有効設定(Enabled)で、システムがブロックモードのハードディスクに読み出し及び書き込み要求を実行します。

設定: Enabled (デフォルト), Disabled

IDE Primary Master PIO

PCIのプライマリIDEハードディスク(マスター)モードの自動またはマニュアル設定を選択します。

設定: Auto (デフォルト), Mode 0, Mode 1, Mode 2, Mode 3, Mode 4

IDE Primary Slave PIO

PCIのプライマリIDEハードディスク(スレーブ)モードの自動またはマニュアル設定を選択します。

設定: Auto (デフォルト), Mode 0, Mode 1, Mode 2, Mode 3, Mode 4

IDE Secondary Master PIO

PCIのセカンダリーIDEハードディスク(マスター)モードの自動またはマニュアル設定を選択します。

設定: Auto (デフォルト), Mode 0, Mode 1, Mode 2, Mode 3, Mode 4

IDE Secondary Slave PIO

PCIのセカンダリーIDEハードディスク(スレーブ)モードの自動またはマニュアル設定を選択します。

設定: Auto (デフォルト), Mode 0, Mode 1, Mode 2, Mode 3, Mode 4

IDE Primary Master UDMA

プライマリー マスター ハードディスク モードの第 1 PCI IDEチャンネルの選択、またはハードディスクがUDMA(DMAより高速のUltra DMA)に対応している場合は、自動認識ができます。

設定: Auto (デフォルト), Disabled

IDE Primary Slave UDMA

プライマリー スレーブ ハードディスク モードの第 1 PCI IDEチャンネルの選択、またはハードディスクがUDMA(DMAより高速のUltra DMA)に対応している場合は、自動認識ができます。

設定: Auto (デフォルト), Disabled

IDE Secondary Master UDMA

セカンダリー マスター ハードディスク モードの第 2 PCI IDEチャンネルの選択、またはハードディスクがUDMA (DMAより高速のUltra DMA)に対応している場合は、自動認識ができます。

設定: Auto (デフォルト), Disabled

IDE Secondary Slave UDMA

セカンダリー スレーブ ハードディスク モードの第 2 PCI IDEチャンネルの選択、またはハードディスクがUDMA (DMAより高速のUltra DMA)に対応している場合は、自動認識ができます。

設定: Auto (デフォルト), Disabled

On-Chip Primary PCI IDE

有効設定(Enabled)でオンボードのプライマリーPCI IDEが利用できます。

設定: Enabled (デフォルト), Disabled

On-Chip Secondary PCI IDE

有効設定(Enabled)でオンボードのセカンダリーPCI IDEが利用できます。

設定: Enabled (デフォルト), Disabled

USB Keyboard Support

USBキーボードを使用する場合はこの機能を「Enabled」に設定してください。

設定: Enabled, Disabled (デフォルト)

Init Display First

AGP VGAカードおよび/またはPCI VGAカードを搭載している場合には、この機能を使ってどちらのカードから表示するかを選択できます。

設定: PCI Slot (デフォルト), AGP

Onboard FDC Controller

有効設定(Enabled)で、フロッピーディスクドライブ(FDD)コントローラがアクティブになります。

設定: Enabled (デフォルト), Disabled

Onboard Serial Port 1

シリアルポート1がオンボードI/Oコントローラを使用していれば、シリアルポートのパラメータを調整できます。I/Oカードを装着する必要がある場合は、COM3とCOM4が必要になる場合があります。

設定: 3F8/IRQ4 (デフォルト), 2F8/IRQ3, 3E8/IRQ4, 2E8/IRQ3, Disabled

Onboard Serial Port 2

シリアルポート2がオンボードI/Oコントローラーを使用していれば、シリアルポートのパラメーターを調整できます。I/Oカードを装着する必要がある場合は、COM3とCOM4が必要になる場合があります。

設定: 2F8/IRQ3 (デフォルト), 3E8/IRQ4, 2E8/IRQ3, Disabled, 3F8/IRQ4

UART2 Mode

第2シリアルポートの操作モードを選択できます。シリアルポートとしてCOM2を使用している場合には、「Standard」に設定してください。

設定: Standard (デフォルト), ASK-IR, IrDA 1.0

Duplex Select

上の機能を「ASK-IR」に設定した場合、この機能を使用することができます。

設定: Half (デフォルト), Full

Onboard Parallel Port

パラレルポートがオンボードのI/Oコントローラーを利用している場合、既定値からのパラメーター値の選択が可能です。

設定: 378/IRQ7 (デフォルト), 278/IRQ5, Disabled, 3BC/IRQ7

Parallel Port Mode

最新規格のプリンタに接続できます。

設定: Normal (デフォルト), EPP1.7+SPP, ECP+EPP1.7, SPP, EPP1.9+SPP, ECP+EPP1.9, ECP

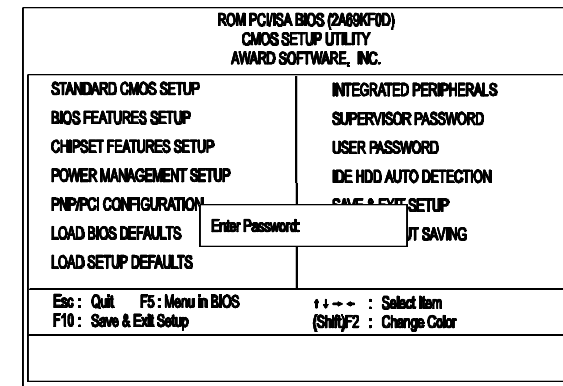
ECP Mode Use DMA

Parallel Port Modeの設定で「ECP」、「ECP+EPP1.9」、または「ECP+EPP1.7」を選択した場合、DMA(Direct Memory Access)チャネルの設定が可能です。

設定: 3 (デフォルト), 1

パスワードの設定

Supervisor/User Password



パスワードの設定は、Standard CMOS Setupユーティリティで行います。パスワードの入力を要求されるので、8文字以内のパスワードを入力し「Enter」キーを押してください。確認要求が表示されたらもう一度同じパスワードを入力し「Enter」キーで確定してください。パスワードを無効にするには、パスワードの入力を要求されたとき「Enter」キーを押してください。メッセージが表示され、パスワードは入力されません。

機能設定 (BIOS Feature Setup) の Security Option の項目で「System」を選択し、Supervisor Passwordを設定した場合、CMOS Setup Utility画面に入るたびにSupervisor Passwordの入力が必要です。「System」を選択し、User Passwordを設定した場合、システムを起動するたびにUser Passwordの入力が必要です。Security Optionの項目で「Setup」を選択し、User Passwordを設定した場合は、システムを再起動したときにのみパスワードの入力が必要となります。

IDEハードディスクの自動検出 IDE HDD Auto Detection

ROM PC/ISA BIOS (2A89KF0D) CMOS SETUP UTILITY AWARD SOFTWARE, INC.							
HARD DISKS	TYPE	SIZE	CYLS	HEAD	PRECOMP	LANDZ	SECTOR MODE
Primary Master :							
Select Primary Master Option (N=Skip) : N							
OPTIONS	SIZE	CYLS	HEAD	PRECOMP	LANDZ	SECTOR	MODE
2 (Y)	851	825	32	0	1650	63	LBA
1	852	1651	16	65535	1650	63	NORMAL
3	851	825	32	65535	1650	63	LARGE
Note : Some OSes (like SCO-UNIX) must use "NORMAL" for installation							
ESC : Skip							

新しいハードディスクを設置すると、IDEハードディスクの自動検出機能によって自動的に認識されます。これは新しいハードディスクの自動設定に便利です。この機能によるIDEハードディスクのパラメーター設定は4つまで可能です。BIOSによって推奨された設定を利用する場合は「Y」を選択します。また、マニュアルによる各パラメーターの設定もできます。設定終了後は、「Esc」キーでメインメニューに戻ってください。正しく認識されているかは Standard CMOS Setup 画面で確認できます。

設定の保存終了 Save and Exit Setup

ROM PC/ISA BIOS (2A89KF0D) CMOS SETUP UTILITY AWARD SOFTWARE, INC.	
STANDARD CMOS SETUP	INTEGRATED PERIPHERALS
BIOS FEATURES SETUP	SUPERVISOR PASSWORD
CHIPSET FEATURES SETUP	USER PASSWORD
POWER MANAGEMENT SETUP	IDE HDD AUTO DETECTION
PNP/PCI CONFIGURATION	SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)?
LOAD BIOS DEFAULTS	EXIT SETUP
LOAD SETUP DEFAULTS	EXIT WITHOUT SAVING
Esc : Quit F5 : Menu in BIOS ↑ ↓ → ← : Select Item	
F10 : Save & Exit Setup (Shift)F2 : Change Color	

各設定の変更後、「Esc」キーでメインメニューに戻ります。カーソルを「Save and Exit Setup」に合わせるか、「F10」キーを押して、「Y」を入力すると、CMOS Setupの変更を保存します。何も変更しなかった場合は、もう一度「Esc」キーで、または「Exit Without Saving」にカーソルを合わせ、「Y」を入力すると設定は変更されません。画面の中央に下記のようなメッセージが表示されたら、CMOSにデータの変更を保存しSetupユーティリティを終了します。

SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)?

設定の未保存と終了 Exit without Saving

この項目を選択し、下記のようなメッセージが画面の中央に表示されたら、CMOSの設定を変更しないでSetupユーティリティを終了します。

Quit Without Saving (Y/N)?